令和８年１０月２日

浜の宮小学校だより10月号(特別号)

まつぼっくり

学校教育目標
こころ豊かにたくましく
生きる力を育てる
めざす児童像
・はっきり話し、自ら学ぶ子
・まっすぐな心で、助け合う子
・こころも体も元気な子

令和８年度　全国学力・学習状況調査の結果について

今年度、４月２３日に行われた「全国学力・学習状況調査」では、全国の小学6年生と中学3年生を対象に、「国語」「算数（数学）」の学習状況、および児童・生徒の学校や家庭での生活実態について、調査が実施されました。

本校児童の調査結果が届きましたので、現状を分析し、まとめました。以下のとおり、保護者の皆様方にお知らせいたします。

学力調査では、国語・算数について実施されました。教科ごとの本校児童の現況と課題については、下記のとおり分析しました。

国語

☆概ね力がついていること

１二(1)「岡野さんたちが作成した動画の一部を工夫した点について適切なものを選択する。」問題に関しては、全国・兵庫県平均を上回っている。「知識・技能（漢字・語彙・文法）」については安定している。

☆これから力をつけていきたいこと

２四「花山さんの文章の続き」を書く問題では、「集めた情報」から抜き出して考えが伝わるように書くことが難しかったようである。

自分の考えを、理由と共に指定の条件を満たして書く問題が苦手である。文章を読む際に、「理由」「結論」「変化のきっかけ」に線を引くなど「書く力」を向上させていく。



算数

☆概ね力がついていること

３(2)「二つの小数のどちらが5に近いかを判断するために、6.37−5と5−3.76を計算する」問題に関して、整数と小数の計算については理解できている。「知識・理解」は全国平均と同等である。

☆これから力をつけていきたいこと

２(4)「赤いテープの長さが、白いテープの長さの1.5倍になっている図を二つ選ぶ」問題では、基準量、比較量、割合の関係を理解することが苦手である。３(3)「分数の大小判断と理由の記述」を苦手としている。答えは出せても、なぜそうなるのか、図や式を組み合わせて論理的に説明する場面で、記述ができるように応用問題における「思考力・判断力・表現力」の育成に力を入れていく。



児童質問紙

生活実態調査は、「児童質問紙」として全73項目の質問によって実施されました。本校児童の現状と今後の課題については、下記のとおり分析しました。

・朝食を食べている児童の割合は兵庫県・全国の平均より低かった。毎日食べるが76.5%、全国平均は83.1%。学級担任と食育担当、栄養士が連携して計画的に進めている児童への食育の取組をいっそう推進するとともに、各家庭への「早寝・早起き・朝ごはん」を学校からの各種たより等を通じて啓発していく。

・SNSや動画視聴について、4時間以上が27.9%、全国は21.9%、全国平均より高い。スマホ等の長時間利用が目立ち、朝食の欠食や生活習慣の乱れにも繋がっている。SNSに関して学校としては、SNS等のトラブル防止講座を実施するなど、取り組んでいるが、さらに、学年だより等を通じて、児童や家庭への啓発を行っていく。

・「学校に行くのは楽しい」「どちらかといえば楽しい」と回答した児童が88.2%で、兵庫県平均より3.9%、全国平均より2.5%高かった。その一方で、「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」と回答した児童が11.7%いる。児童の様子に常に気を配り、小さなサインも見逃さないようにより努めていく。

・不登校や問題行動への対策として、今後も、友達とのつながりを強化していきたい。また、定期的アンケート（アセス、心の相談アンケート）を活用して、先生と児童との関係、友達同士の関係を的確に把握するとともに、その改善を図っていく。

・「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、わかるまで教えてくれると思いますか。」の質問では、88.2%と兵庫県・全国の平均を上回っている。今後も児童に寄り添い、丁寧な指導を続けていく。

・「自分にはよいところがある」と回答した児童は約86.8%で、兵庫県平均より2.3%、全国平均より1.2%上回っているなど、自己肯定感は高い。「人の役に立つ人間になりたいと思う」児童が94.1%でほぼ兵庫県・全国平均並みである。これは、自己有用感が高い傾向にあると考えられる。また、「先生は、あなたの良いところを認めてくれていると思いますか」という質問に「当てはまる・どちらかと言えば当てはまる」と回答した児童が91.2%と兵庫県・全国平均より高く、教師から肯定的に評価されていると認知する児童が多い。今後も継続して、教師と児童、児童同士の深い関わりと、様々な体験活動を通して、他者を認める心を育て、かつ自己有用感を高めさせていく。

・「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童の割合は83.8%で、兵庫県・全国平均よりやや高かった。今後も学校行事や学習活動の際に小さな目標を持たせることで達成感、自己肯定感を味わえるよう、支援していく。

・「いじめは、どんな理由があってもいけないこと」と回答した児童の割合は97.1%で、兵庫県・全国平均よりやや高かった。いじめ防止に向けた児童会活動を主体とする全校的な取組について、今後も継続していく。

今後も、「読み取る力」や「思考力・判断力」の育成に向け、ご家庭との連携を図りながら指導していきたいと考えております。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。